

職務経歴書

2024 年 3 月 31 日現在
氏名：佐藤 賢昭

■経歴要約

大学院卒業後、日本電信電話株式会社（NTT 研究所）に入社し、そのあと他社も経て、現在は東京都教育庁にて ICT 職として勤務しております。研究開発の業務を 7 年半経験した後、教育庁にて 3 年間、新規システム開発のプロジェクトマネージャとして勤務し、合計 10 年半技術職を経験しています。

■職務経歴（いずれも常勤）

1. 2013 年 4 月～2016 年 8 月 日本電信電話株式会社（NTT 研究所）
[事業内容]NTT グループ全体の経営戦略の作成および基盤的研究開発の推進
[資本金] 9379 億 5000 万円 [売上高] 12 兆 1564 億 4700 万円（2023 年）[従業員数] 2486 名

期間	業務内容
2013 年 4 月～8 月	NTT コミュニケーションズにおける新人研修（保守運用、営業、開発業務）
2013 年 8 月～2016 年 8 月 ～2016 年 1 月：社員 2016 年 2 月～：研究員（昇格）	NTT 研究所にて、音声認識の新技术の研究開発、既存技術の実データ検証業務を担当。部署内では、音声認識結果テキストに対して変換誤りを削減し不要語を削除することによる「音声認識したテキストの価値向上」を自身のミッションとした。 職務内容としては HTML5 音声認識、会議音声認識システムなど、NTT としての対外発表でリリースされる技術の一部機能の実データでの検証業務や、独自に考案した新機能として音声認識結果テキストの可読性向上技術の開発をし、この技術の対外発表により NTT のプレゼンス向上に貢献。また、以上の新技术考案／実装に伴い、特許 6 件を申請した。 研究開発の傍ら、発注などの事務処理、GPU サーバ等の新環境導入、事業会社向け研究報告会（60 名程度の規模）の運営総括、リクルーティング業務の周辺業務も行った。 部署内で特に評価されたポイントは、特許をアウトプットするスピードである。 担当人数：管理職含め約 14 名

2. 2017 年 4 月～2021 年 3 月 ヤフー株式会社
[事業内容]インターネット上の広告事業、イーコマース事業、会員サービス事業など
[資本金] 2470 億 9400 万円 [売上高] 1 兆 6723 億 7700 万円（2023 年）[従業員数] 28385 名

期間	業務内容
2017 年 4 月～2021 年 3 月	ヤフーにて音声認識の研究開発・保守運用業務を担当。特に「大規模テキストの収集による音声認識の高度化、音声認識誤りの認識結果分析（ログ等）による削減」を一任され、自身のミッションとした。 音声認識プロダクトの言語モデル全般に関する技術開発を担当し、最新の単語などが正確にテキストに変換されるようなモデルの開発を行うとともに、Hadoop を用いて大量の検索ログや SNS などのテキストを収集する機能の開発を行った。また、チームメンバとともに大量のユーザの音声検索のログ分析業務を行った。また、言語モデルチームを主導し、言語モデル改善・テキストデータ処理の研究開発業務の進捗管理を行った。 このような音声認識に関連する新技术の考案／実装に伴い、特許 2 件を申請。その他、国際会議（InterSpeech）への情報収集・スポンサー活動のための参加、新人後輩社員の指導担当などを行った。 業務の中で特に評価されたポイントは、ディープラーニングを用いた言語モデルを新規に検証し精度を向上させたこと、テキスト収集により高精度な言語モデルの作成を行い部署全体の目標（Google アプリとの差分を 30%程度削減）の達成に大きく貢献したことである。 担当人数：管理職含め、約 15 名

3. 2021 年 4 月～2024 年 3 月現在 東京都教育庁（教育委員会）

[事業内容] 東京都の都立学校（約 250 校）向けのシステム開発、システム導入後の利用支援

[従業員数] 712 名（東京都庁全体では 166665 名）

期間	業務内容
2021 年 4 月～ 2024 年 3 月	<p>東京都教育庁にて、都立学校庶務事務システム開発プロジェクトのプロジェクトマネージャとして、2021 年 4 月～2022 年 8 月の期間で都立学校庶務事務システム（休暇等の申請、出退勤データ分析システム）を開発に従事した。この期間において、10 名程度のメンバを主導し、開発業者とともに要件定義・設計・テストといったシステム開発全工程のプロジェクトマネージャを勤めた。2022 年 9 月のリリース後は教育庁ヘルプデスクの 6 名ほどのメンバを管理し、学校からの問い合わせ対応を管理するとともに、利用者からの要望に基づくリリース後の機能改修を進めた。結果、学校へのシステム導入後アンケートにて、リリース後わずか 2 か月にて、メインユーザである全都立学校の副校長の約 8 割から「業務負担が減少した」という回答を得た。</p> <p>また本システムリリース後、全学校の残業時間データを R や Python を用いて解析し、残業が多い職員の特徴を抽出する・特定の教科の教員の残業が多いのかを検定するなどの分析を行った。</p> <p>2. 新規プロジェクトの発案・仕様書調整・予算要求</p> <p>2023 年 5 月より、システムの利用方法・操作問い合わせの自動化のため、教育庁 AI チャットボット導入を新規提案。生成 AI（ChatGPT）を用いたチャットボット開発の仕様書（機能要件・非機能要件など）を作成・提案し、そのシステムの必要性について予算要求説明を実施し、予算取得に成功した。</p> <p>以上 2 業務の傍ら、教育庁で利用されている調査統計システム、教育庁旅費システム、都立学校ファイルサーバ、教育庁ファイルサーバについて、運用保守管理業務を行った。</p>

■保有資格

TOEIC 790 点（2021 年 4 月取得）、統計検定 1 級（統計数理のみ）

■プログラミング経験

Python 7 年（ヤフー・現職）、Ruby、C++ 3 年（NTT）

■自己 PR

教育指導力

ヤフーでは、言語モデルを扱うチームの研究開発を主導し、テキスト処理のプログラムの研究開発における部下職員への技術教育および進捗管理を実施し、教育指導に貢献しました。また、教育庁では、都立学校庶務事務システムの導入後利用者アンケートの業績により、新人プロジェクトマネージャの部下 1 名の教育係として任命され、既存プロジェクトの開発管理方法を指導したことで、プロジェクトマネジメントにおける部下指導という意味でも高評価を得ました。

論文理解・紹介力

ヤフーでは、論文紹介する機会が多々あり、特に数式を用いた論文について、わかりやすく内容紹介ができる社員であるとの評価を受けておりました。また、音声認識の言語モデルやテキスト処理を特に専門としておりますが、音響処理についてもチーム内での論文紹介をリードすることが多く、高度な論文読解力を身に付けています。

プログラミング・数学力

大学院時代は確率的情報処理研究室に所属し、主成分分析、独立成分分析、MCMC、ベイズ推定、検定などの各種統計手法を実装し、プログラミング能力を身に付けました。また数学力に自信があり、背後の理論も理解しています。

専門知識がない対象者にも技術をわかりやすく説明する技術

教育庁において、専門的知識のない予算の担当に、技術内容を分かりやすく説明する能力を磨きました。都庁では、何か新しく事業を開始する際、都庁内の予算を扱う局に予算の正当性を説明する「予算要求」という工程があり、その際、専門性のない方にも技術を分かりやすく説明する能力が必須となります。この際に、これから導入しようとするシステムの効果をプレゼンする際に直感的な例示をしたり、結局何の利益を与えるのかについて数字的な根拠に重点を置いた説明を実施することで、結果的に新事業の予算獲得に成功しています。

以上